

手縫いのマスクを 寄贈していただきました

12/3

別海町社会福祉協議会から、老人保健施設すこやかへ手縫いのマスクが寄贈されました。

このマスクは、社会福祉協議会に町民の方から寄せられた布マスクを、ボランティアサークルサンキューの会と西別赤十字奉仕団の方々が立体マスクに作り直したものです。

頂いたマスクは、利用者の新型コロナウイルス感染防止のために活用させていただきます。



上杉貞賞表彰式

12/9

障がいのある方で、他の模範や励みとなった方を表彰する上杉貞賞の表彰式が行われました。

本年度は、NPO法人「スワンの家」に通い、清掃やさまざまな物づくりを長年行ってきた、藤井康則さんが受賞され、町長から記念品の表彰盾が手渡されました。



人権教室開催

12/8

根室人権擁護委員協議会による「人権教室」が上春別小学校で開催されました。ビデオ上映や紙芝居が行われ、児童たちは人権について分かりやすく学ぶことができました。

また、子どもの人権相談窓口やSOSミニレーターを紹介し、いじめなどの悩み事を一人で抱え込まないよう呼び掛けが行われました。

行政相談出前授業

11/30

本町の行政相談委員が、上春別小学校で行政相談出前授業を行い「行政の役割」や「行政相談」について説明しました。

これまでに受けた町内児童からの行政相談で実際に改善された事例の紹介なども行われ、分かりやすく実りある授業となりました。



道東あさひ農業協同組合、 渡邊清掃株式会社に感謝状を贈呈しました



12/7

新型コロナウイルス感染症対策については、これまでたくさんの団体や個人から寄付の申し出がございましたが、令和2年4月に各種対策物資が不足する中、いち早く消毒液などを寄付し衛生環境の向上に貢献された、道東あさひ農業協同組合と渡邊清掃株式会社へ町長から感謝状が贈呈されました。



美味しいみそづくり体験講座

11/8・29 中央公民館において「美味しいみそづくり体験講座」を開催しました。

みそは、大豆2kgとこうじ2升、塩1kgをまんべんなく混ぜ合わせ、約10kgのみそができるように仕込みました。皆さん一生懸命作業に集中して、こうじの固まりがパラパラに成るまでほぐし、すりつぶした大豆と混ぜ「美味しくなれ」と唱えながら仕込んだので、一年後きっと美味しいみそができ上がることでしょう。

公民館では、さまざまなリクエスト講座を開催していきますので、ご要望があれば気軽にご相談ください。

尾岱沼寿大学学習会

11/10 尾岱沼寿大学の学習会として「いきいき元気あっぷ健康体操教室」を実施しました。

冬季間の運動不足解消を目的に参加した方々は、椅子に座った簡単な体操以外にも頭を使った運動、右手と左手で違う形を作るなど慣れない動きに悪戦苦闘しながらも、楽しく元気に体操していました。

尾岱沼地区の「いきいき元気あっぷ健康体操教室」は毎月東公民館で開催しています。詳しくは、本紙16ページをご覧ください。



手編みの靴下を寄贈していただきました

11/18

町内にお住いの飯島順昭さん、恵美子さんご夫婦から手編みの靴下が寄贈されました。飯島さんはここ数年、冬の時期に町内の高齢者施設へ手編みの靴下を寄贈されており、



靴下を受け取る利用者の方

本年は老人保健施設すこやかなの利用者に使ってほしいと寄贈いただきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職員が代わりに手渡しましたが、靴下を受け取った施設の利用者からは「あったかそうだね」との声と笑顔が見られました。

東公民館リクエスト講座

11/11・12/4 東公民館のリクエスト講座として、11月11日に「みそづくり教室」、12月4日に「クレープづくり体験」を実施しました。

「みそづくり教室」では大豆とこうじを使った本格的なみそづくりを行いました。中には20kg分のみそを作る方もおり、



たくさんの材料を一生懸命混ぜ合わせておいしいみそを作っていました。

「クレープづくり体験」では通常のレシピに加えいろいろなコツを説明していただきながら作成しました。はじめは上手に焼けなかった生地も後半には上手に焼けるようになっていました。残念ながら時間内に全てはできませんでしたが、家に持ち帰って親子で作ってみますとの声がありました。

